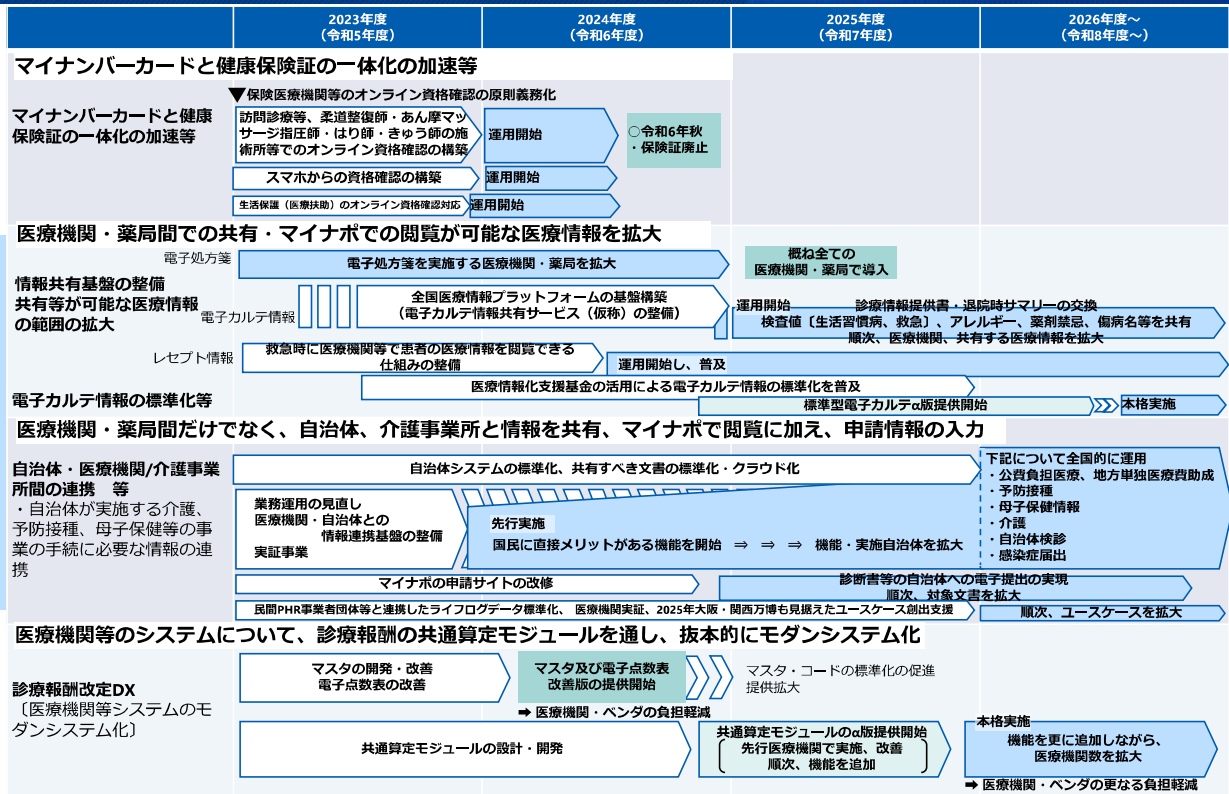


医療DXの推進に関する工程表〔全体像〕

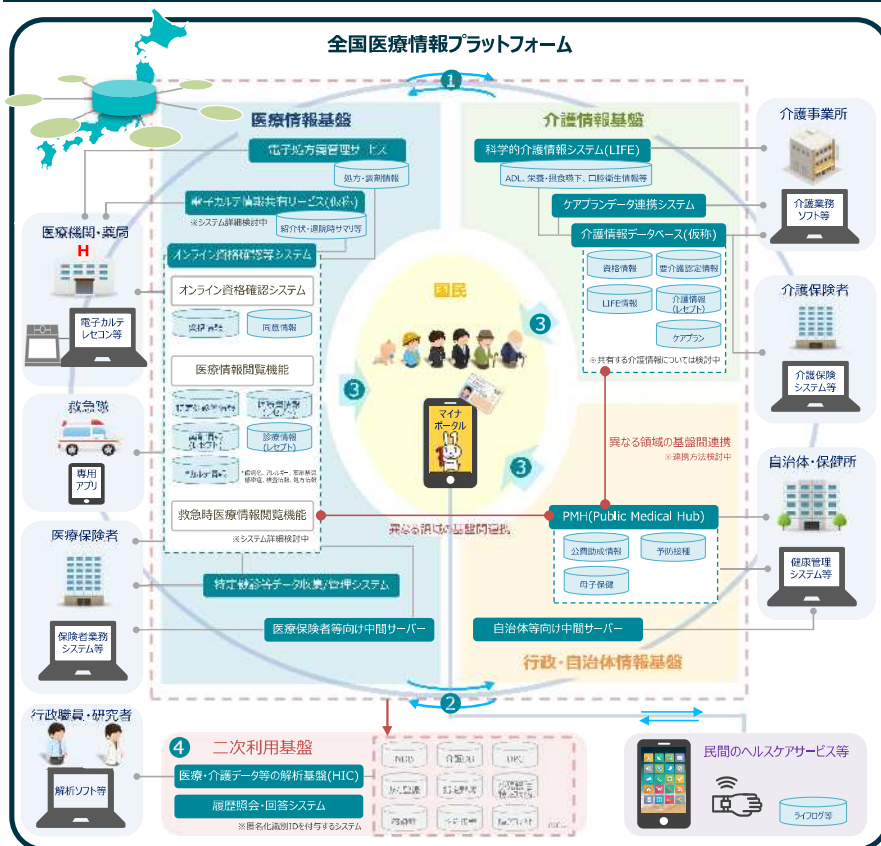


全国医療情報プラットフォームの構築

3

全国医療情報プラットフォームの全体像（イメージ）

資料 2-2



「医療DXのユースケース・メリット例」

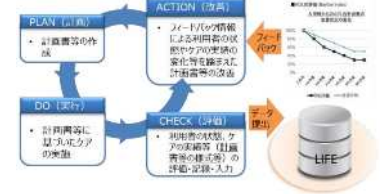
- 1 救急・医療・介護現場の切れ目ない情報共有**
 - ✓ 意識不明時に、検査状況や薬剤情報等を把握され、迅速に確かな治療を受けられる。
 - ✓ 入院時等に、医療・介護関係者で状況が共有され、より良いケアを効率的に受けられる。
- 2 医療機関・自治体サービスの効率化・負担軽減**
 - ✓ 受診時に、公費助成対象制度について、紙の受給者証の持参が不要になる。
 - ✓ 情報登録の手間や誤登録のリスク、費用支払に対する事務コストが軽減される。
- 3 健康管理、疾病予防、適切な受診等のサポート**
 - ✓ 予約券や接種券がデジタル化され、速やかに接種動員が届くことで能動的でスムーズな接種ができる。予約券・尚診券を何度も手書きしなくて済む。
 - ✓ 自分の健康状態や病態に関するデータを活用し、生活習慣病を予防する行動や、適切な受診判断等につなげることができる。
- 4 公衆衛生、医学・産業の振興に資する二次利用**
 - ✓ 政策のための分析ができることで、次の感染症危機への対応力強化につながる。
 - ✓ 医薬品等の研究開発が促進され、よりよい治療や的確な診断が可能になる。

科学的介護情報システム(Long-term care Information system For Evidence:LIFE)の概要

- 介護施設・事業所が、介護サービス利用者の状態や、行っているケアの計画・内容などを一定の様式で提出することで、入力内容が集計・分析され、当該施設や利用者にはフィードバックされる情報システム。介護施設・事業所では、提供されたフィードバックを活用し、PDCAサイクルを回すことで、介護の質向上を目指す。
- 令和3年度介護報酬改定において、一部の加算について、LIFEへのデータ提供等を要件とした。

LIFEにより収集・蓄積したデータの活用

- ・ LIFEにより収集・蓄積したデータは、フィードバック情報としての活用に加えて、**施策の効果や課題等の把握**、見直しのための分析にも活用される。
- ・ LIFEにデータが蓄積し、分析が進むことにより、**エビデンスに基づいた質の高い介護の実施**につながる。



(参考) LIFEへのデータの提出を要件としている加算(以下、「LIFE関連加算」という)と収集している情報、対象となるサービス

| 加算の種類 | 科学的介護推進加算(Ⅰ)(Ⅱ) | 個別機能訓練加算(Ⅱ) | ADL維持等加算(Ⅰ)(Ⅱ) | リハビリテーションマネジメント計画書情報加算 | リハビリテーションマネジメント加算(A)口(B)口 | 理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算 | 褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)(Ⅱ) | 褥瘡対策指導管理(Ⅱ) | 排せつ支援加算(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ) | 自立支援促進加算 | かかりつけ医連携薬剤師加算(Ⅱ)(Ⅲ) | 薬剤管理指導 | 栄養マネジメント強化加算 | 栄養アセスメント加算 | 口腔衛生管理加算(Ⅱ) | 口腔機能向上加算(Ⅱ) |
|--------------------|----------------------------|--------------------|----------------|---------------------------------|---------------------------|------------------------|------------------|-------------|---------------------|------------|---------------------|--------|----------------------------|------------|---------------------|-------------|
| 収集している情報 | ADL 実態の状況 認知症の状況 既往歴 処方薬 等 | 機能訓練の目標 プログラムの内容 等 | ADL | ADL, IADL, 心身の機能、リハビリテーションの目標 等 | | | 褥瘡の危険因子 褥瘡の状態 等 | | 排尿・排便の状況 おむつ使用の状況 等 | ADL 支援実績 等 | 薬剤変更情報 等 | | 身長、体重、低栄養リスク、食事摂取量、必要栄養素 等 | | 口腔の状態 ケアの目標 ケアの記録 等 | |
| 介護老人福祉施設 | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | |
| 地域密着型介護老人福祉施設 | ○ | ○ | ○ | | | | ○ | | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | |
| 介護老人保健施設 | ○ | | | ○ | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | | ○ | |
| 介護医療院 | ○ | | | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ○ | |
| 通所介護 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | ○ |
| 地域密着型通所介護 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | ○ | | ○ |
| 認知症対応型通所介護(予防含む) | ○ | ○ | ○(予防を除く) | | | | | | | | | | | ○ | | ○ |
| 特定施設入居者生活介護(予防含む) | ○ | ○ | ○(予防を除く) | | | | | | | | | | | ○ | | ○ |
| 地域密着型特定施設入居者生活介護 | ○ | ○ | ○ | | | | | | | | | | | | | |
| 認知症対応型共同生活介護(予防含む) | ○ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小規模多機能型居宅介護(予防含む) | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | | | |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | ○ | | | | | | | | ○ | | | | | ○ | | ○ |
| 通所リハビリテーション(予防含む) | ○ | | | | ○(予防を除く) | | | | | | | | | ○ | | ○ |
| 訪問リハビリテーション | | | | | ○ | | | | | | | | | | | ○ |

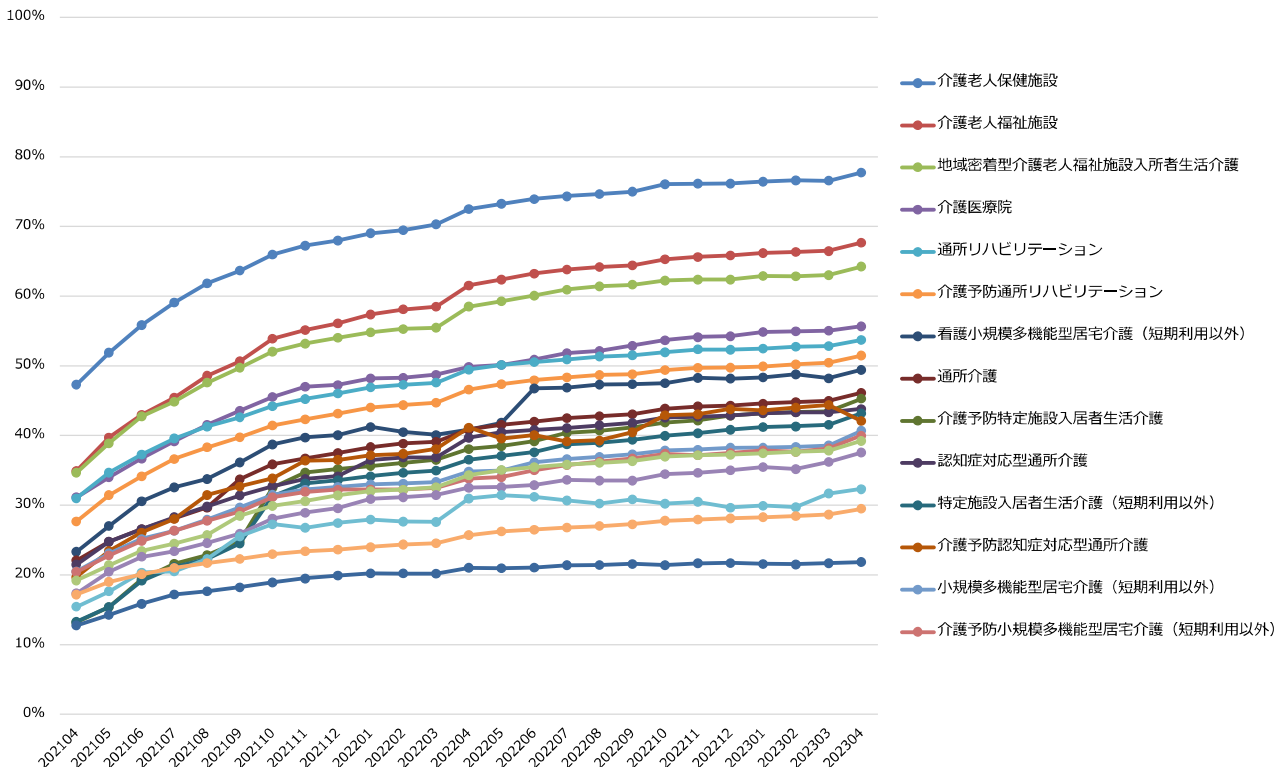
LIFEへのデータ提出等が要件となっている加算一覧①

| サービス類型 | 加算名 | 単位数 |
|--|--|---|
| ・ 訪問リハビリテーション | リハビリテーションマネジメント加算(A)口 リハビリテーションマネジメント加算(B)口 | 213単位 483単位 |
| ・ 通所介護 ・ 地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護(予防を含む) | 科学的介護推進体制加算 個別機能訓練加算(Ⅱ) 栄養アセスメント加算 口腔機能向上加算(Ⅱ) ADL維持等加算(Ⅰ) / (Ⅱ) | 40単位 20単位 50単位 160単位 30単位 / 60単位 |
| ・ 通所 リハビリテーション(予防を含む) | 科学的介護推進体制加算 リハビリテーションマネジメント加算(A)口(予防を除く) リハビリテーションマネジメント加算(B)口(予防を除く) 栄養アセスメント加算 口腔機能向上加算(Ⅱ) | 40単位 593単位 ※6月を超えた場合 273単位 863単位 ※6月を超えた場合 547単位 50単位 160単位 |
| ・ 特定施設入居者生活介護(予防を含む) ・ 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 科学的介護推進体制加算 個別機能訓練加算(Ⅱ) ADL維持等加算(Ⅰ) / (Ⅱ) | 40単位 20単位 30単位 / 60単位 |
| ・ 認知症対応型通所介護(予防を含む) | 科学的介護推進体制加算 個別機能訓練加算(Ⅱ) 栄養アセスメント加算 口腔機能向上加算(Ⅱ) ADL維持等加算(Ⅰ) / (Ⅱ) | 40単位 20単位 50単位 160単位 30単位 / 60単位 |
| ・ 小規模多機能型居宅介護 | 科学的介護推進体制加算 | 40単位 |
| ・ 認知症対応型共同生活介護 | 科学的介護推進体制加算 | 40単位 |
| ・ 看護小規模多機能型居宅介護 | 科学的介護推進体制加算 栄養アセスメント加算 口腔機能向上加算(Ⅱ) 褥瘡マネジメント加算(Ⅰ) / (Ⅱ) 排せつ支援加算(Ⅰ) / (Ⅱ) / (Ⅲ) | 40単位 50単位 160単位 3単位 / 13単位 10単位 / 15単位 / 20単位 |

LIFEへのデータ提出等が要件となっている加算一覧②

| サービス類型 | 加算名 | 単位数 |
|--|---|--|
| ・介護老人福祉施設 ・地域密着型 介護老人福祉施設 入所者生活介護 | 科学的介護推進体制加算（Ⅰ）／（Ⅱ） 個別機能訓練加算（Ⅱ） 栄養マネジメント強化加算 口腔衛生管理加算（Ⅱ） 褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）／（Ⅱ） 排せつ支援加算（Ⅰ）／（Ⅱ）／（Ⅲ） 自立支援促進加算 ADL維持等加算（Ⅰ）／（Ⅱ） | 40単位／50単位 20単位 11単位 110単位 3単位／13単位 10単位／15単位／20単位 300単位 30単位／60単位 |
| ・介護老人保健施設 | 科学的介護推進体制加算（Ⅰ）／（Ⅱ） 栄養マネジメント強化加算 口腔衛生管理加算（Ⅱ） リハビリテーションマネジメント計画書情報加算 褥瘡マネジメント加算（Ⅰ）／（Ⅱ） 排せつ支援加算（Ⅰ）／（Ⅱ）／（Ⅲ） 自立支援促進加算 かかりつけ医連携薬剤調整加算（Ⅱ）／（Ⅲ） | 40単位／60単位 11単位 110単位 33単位 3単位／13単位 10単位／15単位／20単位 300単位 240単位／100単位 |
| ・介護医療院 | 科学的介護推進体制加算（Ⅰ）／（Ⅱ） 栄養マネジメント強化加算 口腔衛生管理加算（Ⅱ） 理学療法、作業療法及び言語聴覚療法に係る加算 褥瘡対策指導管理（Ⅱ） 排せつ支援加算（Ⅰ）／（Ⅱ）／（Ⅲ） 自立支援促進加算 薬剤管理指導 | 40単位／60単位 11単位 110単位 33単位 10単位 10単位／15単位／20単位 300単位 350単位 |







LIFE関連加算を算定している事業所の割合の推移



(注) ・LIFE関連加算の対象サービスを提供している事業所のうち、少なくとも1つのLIFE関連加算を算定している事業所の割合を集計
・令和3年4月～令和5年4月サービス提供分のデータを介護保険総合データベースにて集計

LIFE活用の推進に向けたこれまでの取組について

- 令和3年度より稼働したLIFEを活用した科学的介護の取組を普及させるため、現場でのヒアリングを踏まえた利活用の手引きや動画マニュアルを作成したり、介護事業所及び自治体職員向けに研修を実施するなど取り組んできた。

| | | | | |
|-------|---|--|--|---|
| 令和3年度 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 介護事業所へのヒアリング調査を踏まえた動画マニュアルの作成や、LIFEの利活用を推進するための手引きや好事例集等を作成した。 ■ さらに、自治体職員が介護事業所とともにLIFEを活用した科学的介護の取組を推進することを目指し、自治体職員向けのマニュアルを作成した。 | 動画マニュアル (厚労省YouTubeチャンネルにて公開)  | LIFE利活用の手引き (厚労省HPで公開)  | LIFE利活用の好事例集 (厚労省HPで公開)  |
| 令和4年度 | <ul style="list-style-type: none"> ■ LIFEを活用したPDCAサイクルの推進に向けて、介護事業所向けに、引き続きLIFE利活用の好事例集を作成するとともに、フィードバック活用の手引きを作成した。 ■ また、介護事業所へのフィードバックを踏まえた自治体職員向けのマニュアルを作成するとともに、オンラインによる研修会を開催した。 | LIFE利活用の好事例集 (厚労省HPで公開)  | LIFEフィードバック活用の手引き (厚労省HPで公開)  | LIFE自治体職員向けマニュアル (厚労省HPで公開)  |
| 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> ■ フィードバックの拡充に伴い、介護事業所向けにフィードバックの利活用の手引きを作成するとともに、フィードバックを活用した科学的介護の取組に係る研修を開催予定。 ■ また、こうした介護事業所向けの取組の拡充を受けて、自治体職員向けの研修等も併せて実施していく予定。 | | | |

LIFEの変遷

| | | |
|--------|-------|---|
| 2017年度 | VISIT | <ul style="list-style-type: none"> ○ VISIT (monitoring& eValuation for rehabilitation Services for long-Term care) の運用を開始 通所・訪問リハビリテーション事業所から、リハビリテーションの情報収集を開始 2020年3月末時点で631事業所が参加 |
| 2018年度 | VISIT | <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護報酬においてVISITを評価 対象サービス：通所・訪問リハビリテーション事業所 |
| 2019年度 | VISIT | <ul style="list-style-type: none"> ○ 科学的裏付けに基づく介護に係る検討会取りまとめ (2019年7月16日) |
| 2020年度 | CHASE | <ul style="list-style-type: none"> ○ CHASE(Care, HeAlth Status & Events)の運用を開始 全ての介護サービスを対象として、高齢者の状態やケアの内容等の情報を収集開始 2020年10月末時点で2,999事業所にIDを発行 モデル事業で、提出データとフィードバックを試行的に実施し、アンケート・ヒアリングを通じて、内容のブラッシュアップを実施。 |
| 2021年度 | LIFE | <ul style="list-style-type: none"> ○ VISITとCHASEを統合し、LIFE(Long-term care Information system For Evidence)の運用を開始 ○ 令和3年度介護報酬改定において、新たな評価を創設 事業所単位に加えて、個人単位の分析結果をフィードバック予定 2022年5月末時点で約7万事業所にIDを発行 |